



野崎小だより 12月号

令和3年12月1日 和歌山市立野崎小学校



「今年も残りわずか。心にゆとりを持って。」

校長 川本 智之

今年も早いもので、12月師走を迎えました。寒さも一段と厳しくなってきました。そんな中でも、毎朝校門で、子どもたちの元気な挨拶と笑顔に、寒さに負けない温もりをもらっています。「今日も頑張ろう」と背筋を伸ばし、1日を始められることを、子どもたちに感謝です。

2学期も残すところ3週間。たくさんの行事を終えるうちに、あっという間に、一年が過ぎようとしています。どの学年も4月から見ると、心身ともに大きく成長していることを大変うれしく思います。この9か月間にたくさんの「できる事」「優しい気持ち」が育まれてきました。先生たちは、一人ひとりの子どもへの「声かけ」を大切にしています。『共感する言葉：そうだね。その気持ちわかるよ。』『認める言葉：頑張ったね。上手になったね。』『感謝の言葉：ありがとう。うれしいよ。』等、子どもたちは、その言葉を受け、認められることで自信を持ち、もっともっと頑張ろうと成長します。是非、ご家庭でも、素敵な声かけのご協力をお願いします。

11月13日(土)、土曜参観・教育講演会を開催しました。土曜参観には大勢の保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。子どもたちは、少し緊張しながらも真剣に授業を受けていました。その後開催しました教育講演会では、和歌山市スクールソーシャルワーカーの西園円香先生に『現代の子どもトリセツ ～SSWの関わりから～』と題してご講演いただきました。

今、子どもたちを取り巻く社会や家庭の環境が変化し、子どもの多忙化やネット社会による対面での人との触れ合いが減る中、子どもたちはたくさんの「しんどさ」「生き辛さ」を抱えています。それを理解した私たち大人の関わり方、受け止め方で、子どもはぐんと気が楽になりしんどさが軽減されるとして、子どもとの関わり方のポイントをいくつか教えていただきました。

また、子育てで一番大切なことは、保護者自身が「こころ」と「からだ」にゆとりを持つこと、と言われていました。日々のストレスや疲れで大変だとは思いますが、少しこころに余裕を持って、子どもに接したいものです。

本当に早いもので、今年最後の野崎小だよりとなりました。今年一年ご協力いただきありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

12月の行事予定

※行事はやむを得ず変更になる場合もあります。ご了承ください。

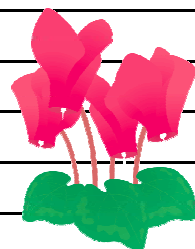
家庭数

日	曜日	学校行事（育友会行事を含む）
1	水	登校指導、あいさつ運動、安全点検、いじめなくそうデー、防災センター見学（3年）、河北ブロック人権教育実践交流会
2	木	教育相談、フォローアップ
3	金	下校指導
4	土	一斉街頭啓発活動
6	月	集金日1日目、フォローアップ
7	火	集金日2日目、ぶくぶくタイム
8	水	【短縮校時】漢字の博士試験（2～6年）
9	木	大阪ガス出前授業（5年）、フォローアップ
13	月	フォローアップ
14	火	ぶくぶくタイム、地区別子ども会（6限）、下校指導
15	水	登校指導、あいさつ運動
16	木	教育相談、フォローアップ
17	金	カカオ教室（6年）
20	月	A L T（3・5・6年）、電気出前授業（6年）、フォローアップ
21	火	ぶくぶくタイム
23	木	給食終了、フォローアップなし
24	金	2学期終業式
25	土	冬休み開始（1月5日（水）まで）



～1月主な予定～

6日（木）3学期始業式
7日（金）給食開始
21日（金）なわとび集会
25日（火）おたのしみ集会



11月学校開放月間 ありがとうございました ～地域・家庭と連携した学校をめざして～

11月は学校開放月間でした。保護者の方に加え、民生委員さんなど地域の方にも、授業参観や教育講演会にご参加いただき、誠にありがとうございました。普段の子どもたちの様子を知っていただく良い機会となりました。

今後も、地域・家庭・学校が連携・協力して子どもたちを育てていくという視点に立った学校教育を心がけてまいります。

13日（土）の教育講演会では、和歌山市スクールソーシャルワーカー西園円香先生よりお話を伺いました。

講演の中で、子育てで一番大事なことは保護者がゆとりをもつこと、という話がありました。こころのゆとり、からだのゆとりを保つために、教職員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーらが一丸となって、できる限りのサポートをさせていただきます。子育てに関して「しんどい」「疲れた」「どうしたらいいんだろう」と思うことがありましたら、ぜひ学校にご相談ください。